

最終総合評価に伴うモニタリングチェックシート（平成26年度）

< 評価 >

優：特記すべき実績・成果が認められるもの

良：管理運営が良好と認められるもの

要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

施設名	大泉障害者地域生活支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
評価者	指定管理者選定委員会

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> 計画的な予算執行であるか 管理業務費の経理については、別に会計を設けて処理しているか 帳簿等を整備して、管理業務費の執行状況等を記録しているか 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収納した金銭等の取扱いについて、管理体制を構築しているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な予算執行、会計処理の帳簿整理等が実践されている。 基本協定や事業計画書に基づく事業運営がなされている。 事業の参加費（実費負担金）は、適正に管理されている。
2 施設管理運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 物品購入および再委託の際に、区内業者の活用に努めているか 設備・備品の保守点検等管理を適切に行っているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 職員配置は協定を遵守しているか 職員について区内雇用の促進を図っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 物品購入等における区内業者の活用に努めている。 保守点検等の管理を適切に行っている。 職員配置の協定を遵守すること等について、適切に運営体制を整えている。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズに対応できる事業を適正に実施しているか 地域との連携を図って事業を実施しているか 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか 人権についての職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 	優	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談支援の実施に際して、丁寧なアセスメントに努め、福祉事務所等の関係機関との連携を密にしながら、利用者が抱える課題解決への対応や利用者の意向に沿った適切な支援につなぐ役割を果たしている。 利用者ニーズや各障害の特性に合わせて、当初4つから始めた料理講座や創作活動のプログラムを18に増やし、毎年度プログラムの内容や実施方法を工夫している。 週2日の喫茶事業（3年半で利用者は延5,000人超）により、日常的に地域住民がセンターに足を運びやすい環境となり、障害者との交流が自然と出来ている。
4 法令遵守等 <ul style="list-style-type: none"> 職員の採用選考および勤務条件について、関係法令を遵守しているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 練馬区情報セキュリティポリシーに定める水準と同等もしくはそれ以上の水準を保障する対策を講じているか 個人情報保護条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか（チェックリスト、マニュアル等の活用） 情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 職員の採用選考等について関係法令を遵守している。 緊急時のマニュアルを整備し、必要な訓練等を実施している。 情報セキュリティポリシーおよび対策マニュアル等を定め、研修や職員会議等を通じて周知徹底に努めている。 個人情報保護、情報公開の規程を設けており、チェックリスト等を活用し適正な取り扱いを行っている。
5 利用者評価等 <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等の評価は良好か 運営協議会の評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートの満足度は平均85%と良好である。 運営協議会では、喫茶事業をきっかけに地域交流が図られている点や防災活動等への取組について評価を得ている。
総合評価		(講評) ・項目全般について区が求める水準を満たしている。 ・開設当初から毎年度、事業内容の見直しを行う等、利用者ニーズや各障害の特性に合ったプログラムの実施について、積極的に取り組んでおり、利用者から好評である。 ・町会の防災活動等への参加や、喫茶事業、イベントを通して、年々、近隣町会との交流が進んでいる中で、さらに新しい地域活動の実施を検討する等、施設の周知や障害理解の促進に取り組んでいる。
良		